

北山村の魅力ポイント ■ 面積 48.2km² ■ 人口 約400人 ■ 指定地域 半島振興対策実施、振興山村、特定農山村、過疎

3つの日本唯一！！

① 飛び地の村



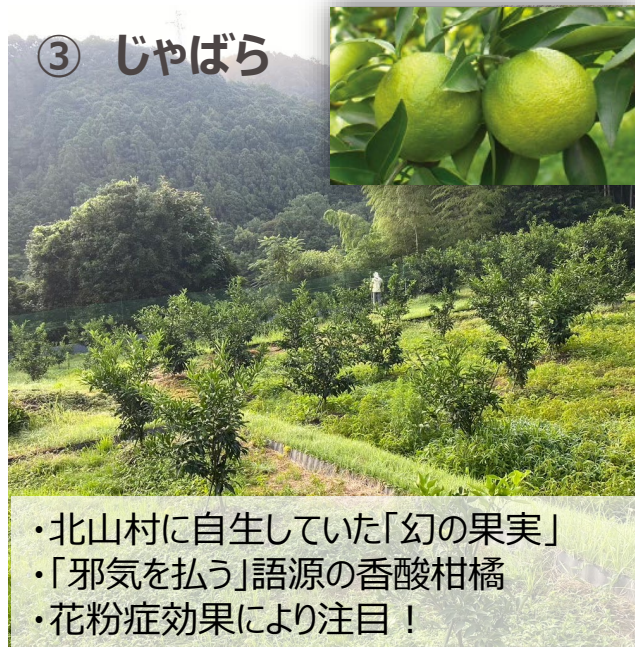
和歌山なのに三重県と奈良県に
囲まれ和歌山県に接していない！

② 筏下り

和歌山県指定無形民俗文化財



③ じゃばら



- ・北山村に自生していた「幻の果実」
- ・「邪気を払う」語源の香酸柑橘
- ・花粉症効果により注目！

+ 山に囲まれた自然を生かした名所がいっぱい！



キャンプ場



満点の星空



筏師の道



温泉



上瀬橋



雲海

北山村の課題

■ 政策分野 空き家・観光

空き家の活用

- 村の人口減少が顕著な中、村外からの移住を増やし、定住を進めることが必要。
- 一方、村内は地理的に平地に限られ、移住・定住人口を増やすためには住宅の確保が急務。
- そこで、村営住宅も数に限りがあるため、老朽化の進む空き家の住宅としての活用が課題。

観光振興

- 村内の観光資源としては、夏季シーズンの観光筏下りが主であり、オフシーズン（10～4月）の観光振興が課題。
- 訪日外国人向けの多言語対応など、観光客の受入環境の整備も課題。
- また、全ての課題に共通するが、観光協会や役場の人手も限られており、マンパワー不足が顕著。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和5年7月に現地視察を実施。上記課題について村役場から現状をヒアリングするとともに、村内の空き家の状況を視察。また観光筏下りやオフシーズンの観光資源について観光協会と意見交換を行い、新たな観光資源となりうる雲海スポット、おくところ道の駅周辺も視察。じゃばら（柑橘）の生産・加工の現状についても説明を受けた。
- その後、オンラインにて定例ミーティングを行い、応援隊からは①受け入れ環境整備に向けた観光関連の制度や、農泊関係の制度の紹介、②北山村と酷似した環境で不動産業を行う梅鉢不動産を交えた意見交換、を実施。
- 令和6年1月に現地視察を実施。通年の観光資源となり得る筏師の道、新たなじゃばらの加工場を視察。また次年度の活動のあり方について意見交換を実施。

今後の方針

- 空き家の活用及び観光振興について、引き続き、課題解決に資する施策を紹介。
- また、令和5年度の活動状況を踏まえて、令和6年4月より、役場において所属横断的なチームを設けて、応援隊員とともに、北山村の将来ビジョンを策定予定。